



MARUZEN CHI
Holdings

平成24年1月期決算発表 ご説明資料

(当社第2期 平成23年2月1日～平成24年1月31日)

平成24年3月16日

丸善CHIホールディングス株式会社

説明者:代表取締役社長 小城 武彦



1. 当期のトピックス

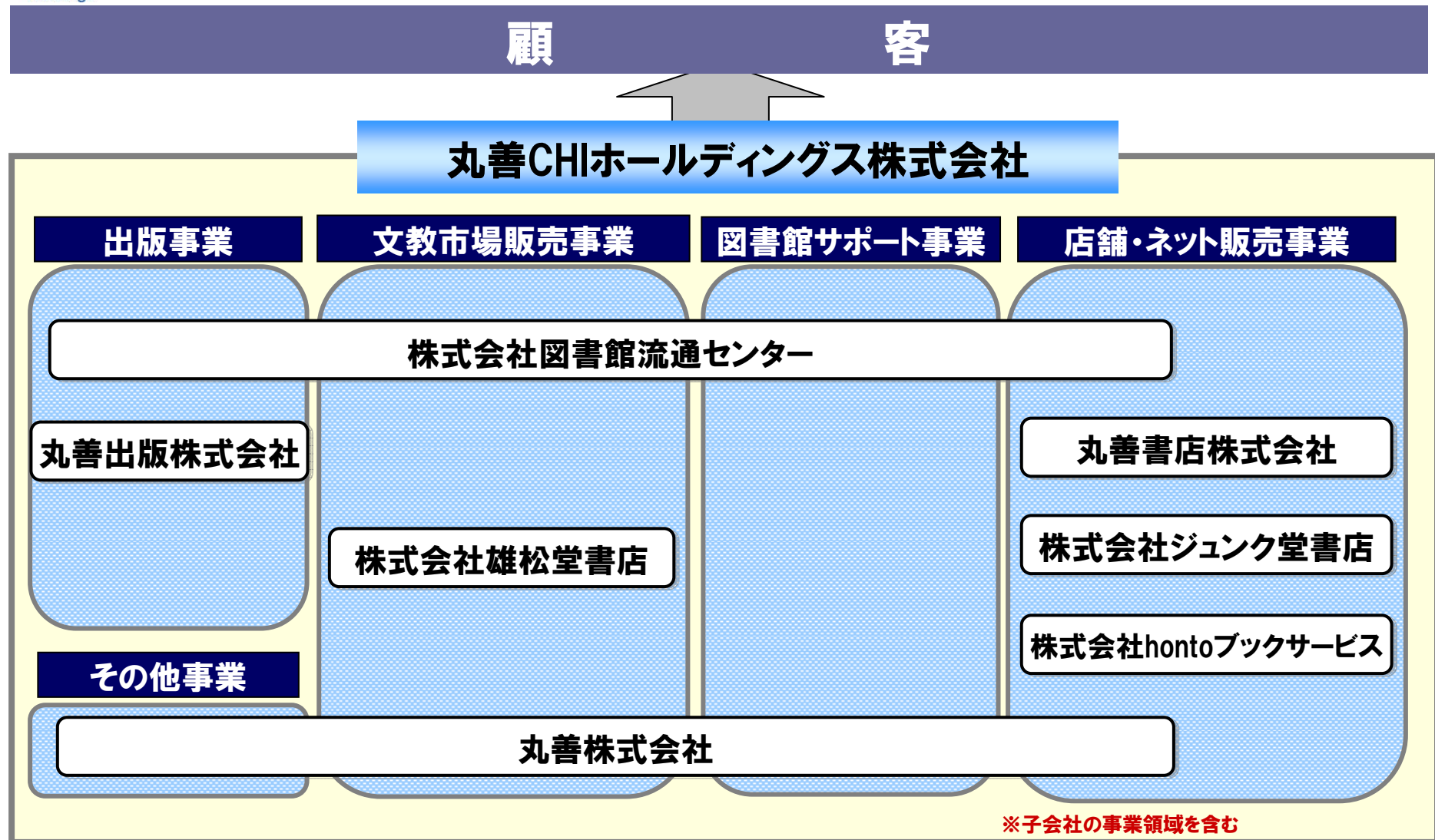
- 2月：株式会社ジュンク堂書店、株式会社雄松堂書店が加わるなどし、当期期初より主要事業会社7社体制となる。
- 5月：「CHIグループ株式会社」から「丸善CHIホールディングス株式会社」へ商号変更。
- 6月：「株式会社honto」を「株式会社hontoブックサービス」へ商号変更。
- 1月：店舗事業の経営効率化のため、株式会社ジュンク堂書店を丸善書店株式会社の完全子会社とするグループ内組織再編を実施。

※その他の営業関連トピックスについては13～14ページの参考資料をご覧ください。



MARUZEN CHI Holdings

2. 当社の体制図



(親会社 大日本印刷株式会社)



3. 当期・平成24年1月期 業績サマリー(連結)

- 図書館向け図書販売や図書館業務サポート事業、研究者向け洋古書の販売などが好調に推移したために、前回（平成23年12月15日）発表予想を上回る業績となった。
- 一方で店舗事業においては、市場の低迷や東日本大震災の影響による消費マインドの冷え込みから苦戦となった。

◆平成23年2月1日～平成24年1月31日

(単位：百万円)

【平成24年1月期】	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
業績予想値 ^(※1) (平成23年12月15日発表)	174,000	▲350	▲600	▲3,250
実績(本日発表)	176,013	5	▲118	▲3,096
対業績予想 増減	+2,013	+355	+482	+154
対業績予想 比率	101.2%	—	—	—

(※1 業績予想値については本年3月14日業績予想修正開示をおこなっております。)



4. 当期・平成24年1月期のセグメント損益(連結)

◆平成23年2月1日～平成24年1月31日

(単位：百万円)

連結	売上高			営業利益		
	当期	前期	対前比	当期	前期	対前比
文教市場販売事業	68,510	58,939	116.2%	1,662	1,515	109.7%
店舗・ネット販売事業	83,741	34,508	242.7%	▲734	▲445	---
図書館サポート事業	14,010	12,108	115.7%	1,036	791	131.0%
出版事業	5,008	4,776	104.9%	374	446	83.9%
その他事業	4,742	4,937	96.1%	403	181	222.7%
消去又は全社	—	—	—	▲2,736	▲3,743	---
合計	176,013	115,270	152.7%	5	▲1,255	---



5. 主要事業 ①文教市場販売事業

(単位：百万円)

平成24年 1月期	当期	前期
売上高	<u>68,510</u>	58,939
営業利益	<u>1,662</u>	1,515

セグメント事業

- 学術研究や教育向けの、洋書や電子書籍を含む各種出版物、情報資料の提供
- 研究者支援ソリューションの提供
- 図書館用書籍の販売、書誌データベース(TRC MARC)の作成・販売、図書装備等の提供
- 教育・研究施設、図書館などの設計・施工、大学経営コンサルティングなど各種ソリューションの提供
- 大学内売店の運営、教科書販売

- 当期より雄松堂書店が当セグメントに加わった。
- 大学等への年間契約雑誌等の売上を、前期、分割計上に変更したことから売上減となっていたが、当期は通年分が計上され売上増(平常ベース)となった。
- 地域活性化交付金にかかわる予算措置に伴い、公共図書館における図書整備需要が拡がり、公共図書館向け図書販売(TRC)が好調に推移。
- 大学向け図書販売(丸善)では、前期末に発生した書籍販売業務システム更新時のトラブルの影響は徐々に収束したが、全般的に苦戦が続いた。



5. 主要事業 ②店舗・ネット販売事業

(単位：百万円)

平成24年 1月期	当期	前期
売上高	<u>83,741</u>	34,508
営業利益	<u>▲734</u>	▲445

セグメント事業

- 全国に「MARUZEN」「JUNKUDO」及び「MARUZEN & JUNKUDO」の3ブランドによる店舗網で、和書、洋書、文具・雑貨等の販売
- オンライン書店「ピーケーワン」の運営
- hontoブックサービスによる、オンライン書店の企画開発

- 当期からジュンク堂書店が加わり、また新店12店を当期開店したことから、対前比では大幅増収。
- しかし、新規出店コスト負担と、7年連続対前年を割る市場の冷え込みが大都市圏の大型店舗を中心に影響を及ぼし、利益面では厳しい結果となった。
- 管理コストの削減、効率的な店舗運営のために、丸善書店(株)、(株)ジュンク堂書店を親子会社とするグループ内組織再編を実施した。



5. 主要事業 ③図書館サポート事業

(単位；百万円)

平成24年 1月期	当期	前期
売上高	<u>14,010</u>	12,108
営業利益	<u>1,036</u>	791

セグメント事業

- 公共図書館、大学図書館の業務(カウンター業務、目録作成、蔵書点検等)の請負
- 指定管理者制度による図書館の運営業務
- PFIによる図書館運営業務及び人材派遣

- 公共図書館、大学図書館ともに順調に推移し増収増益。
- 受託館数では、前期末より 93館増え、当期末690館となった。
(前年比116%)



5. 主要事業 ④出版事業

(単位：百万円)

平成24年 1月期	当期	前期
売上高	5,008	4,776
営業利益	374	446

セグメント事業

《丸善出版(株)の出版事業》

『理科年表』等の理工系分野中心の専門書、事典、便覧等の刊行。及びビデオ・DVDの発売。

《(株)図書館流通センター子会社 岩崎書店》

絵本・童話などの児童書、図書館向けの書籍の刊行。

- 定番シリーズに加え、震災関連書籍など計302点の新刊を当期に刊行。
 - 今後の市場動向を踏まえ、一部商品の評価を保守的に見なおしたために若干の減益となった。
- ー 主要新刊タイトルー
- 専門書：『放射線とは何か～正しく向き合うための原点』『全国77都市の地盤と災害ハンドブック』『化学工学便覧 改訂7版』など
 - 児童書：『知ろう! 防ごう! 自然災害』『ルルとララシリーズ』など



5. 主要事業 ⑤その他事業

(単位：百万円)

平成24年 1月期	当期	前期
売上高	<u>4,742</u>	4,937
営業利益	<u>403</u>	181

セグメント事業

- 書店、その他小売店舗向けに、企画・設計デザイン、建設工事、内装工事、店舗什器、看板、ディスプレイ等のトータルプランニング
- その他

- 店舗内装事業は、震災の影響から出店計画の見直しや延期をする書店が多く、投資マインドの冷え込みの影響を受けた。
- 一方で、その他の事業は堅調に推移するとともに、一部特需もあったために、前期を上回る業績となった。



6. 来期・平成25年1月期(当社第3期)業績予想

- 平成25年1月期については、当期(平成24年1月期)に実施した丸善(株)の希望退職などによるコスト改善、および特損の減少、店舗事業における前年から増益などの要因により、来期は営業利益、経常利益、純利益とともに黒字化の見込み。
- 丸善(株)のコスト改善効果:経費約10億円、特損約16億円
- 店舗事業におけるスクラップ(不採算店撤退)&ビルド(当期出店分の利益寄与)効果および当期出店コストの減、資産除去債務の影響減等 約7.5億円
- これらにより、来期・平成25年1月期においては、売上は微増ですが、営業利益で1,650百万円、経常利益で1,450百万円、当期純利益で270百万円を見込んでおります。

(単位：百万円)

【平成25年1月期予想】	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
第2四半期業績予想	91,000	770	690	20
通 期 業績予想	<u>178,000</u>	<u>1,650</u>	<u>1,450</u>	<u>270</u>
当期実績(通期)との比較	+1,987	+1,645	+1,568	+3,366
[平成24年1月期通期実績]	176,013	5	▲118	▲3,096



7. 来期(平成25年1月期)戦略テーマ①

①ハイブリッド型総合書店構築と書店収益改善

- ・スクラップ&ビルドによる採算性向上
- ・ハイブリッド対応の書店POSシステムを順次設置
- ・ネット、電子書籍、リアル書店共通のポイントシステム導入
- ・One IDでの購買情報管理。
 - マーケティング力強化による、仕入力・売り切り力の向上
- ・売り逃し防止のための、グループ内物流整備

②文教(大学)市場の収益改善

- ・当期実施した丸善のコスト改善施策の通年効果
- ・大学向け営業の仕組販売型へのモデル転換
- ・仕入物流拠点のグループ内統合による効率化

③各市場における電子化への取り組み

- ・大学向け電子コンテンツ配信の立ち上げ(丸善 e - book Library)
- ・ハイブリッド型図書館システムの導入拡大(TRC-DL)
- ・編集段階での出版コンテンツの電子化対応(丸善出版)



MARUZEN CHI
Holdings

ご参考資料



ご参考:当期のトピックス ~新規出店店舗

	店名	面積	ブランド	備考
3月	博多	794坪	MARUZEN	書籍・文具
4月	多摩センター	1,200坪	MARUZEN	書籍・文具
5月	郡山	199坪	MARUZEN	文具
6月	旭川(※)	1,041坪	JUNKUDO	書籍
7月		216坪	MARUZEN	文具
	仙台TRビル	572坪	JUNKUDO	書籍
10月	甲府(※)	780坪	JUNKUDO	書籍
		145坪	MARUZEN	文具
	静岡	676坪	MARUZEN & JUNKUDO	書籍・文具
11月	仙台本店	949坪	JUNKUDO	書籍
		171坪	MARUZEN	文具
12月	松本	1,000坪	MARUZEN	書籍・文具

(※)フランチャイズ方式での運営



MARUZEN CHI
Holdings

ご参考: 当期のトピックス ~ワールド・アンティーク・ブックプラザ

★11月25日 丸善・日本橋店3階に
『ワールド・アンティーク・ブック・プラザ』をオープン



『ワールド・アンティーク・ブック・プラザ』は世界11カ国から20社余の著名なアンティーク・ブックショップが参加し、日本にはじめて紹介されるような貴重な古書を含め、常時1000点超を取り揃えています。

これら古典的名著や美装本は、来店されるお客様が手にとってご覧になれますので、アンティーク・ブックの魅力的な世界をじっくりお楽しみいただける空間となっています。

